

外国語学習のめやすマスター研修_2014 夏_事前課題

作成者：祭貴貴美子

学習シナリオ

テーマ:留学生に和歌山の魅力を紹介しよう

レベル:2

<場面状況>

高校2年の生徒たちは、現在パラグアイからの留学生と一緒に勉強しています。留学生から写真を見ながらパラグアイのことを紹介してもらい、地理や気候や文化など日本と異なる点を知りました。そこで、留学生に自分たちが住んでいる和歌山のことをもっと知ってもらうために、パワーポイントを用いて和歌山の魅力を紹介することにしました。

<活動の流れ>

4～5人程度のグループに分かれ、「和歌山の魅力」について話し合い、テーマを決める。決めたテーマに基づき、家族や地域の人に聞いたり、インターネットや書籍などで調べる。また、それぞれのテーマで海外とのつながりがないかも調べる。

グループで調べた内容について質問シートを作り、グループ以外の生徒とペアになりお互いに質問をする。

質問をした時の相手の反応も参考にしながら、グループごとに集めた写真や資料を使って、パワーポイントを使ってプレゼンテーションの準備をする。英語の紹介文を作成し、練習する。メンバー全員が発表できるように、役割分担を決める。

発表会を開き、留学生にも聞いてもらい、感想を出し合う。留学生にどの発表がよかったか選んでもらう。

3×3+3分析

テーマ名: 留学生に和歌山の魅力を紹介しよう。

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	シナリオ中の該当する箇所 ・必要な語彙や表現方法がわかる。	シナリオ中の該当する箇所 ・日本や和歌山の歴史や文化がわかる。 ・パラグアイの文化と比較して、その違いがわかる。	シナリオ中の該当する箇所 ・和歌山と海外とのつながりから、グローバル社会の一員としての自覚をもち、グローバル社会の特徴や課題について理解する。 ・インターネットで調べたり、プレゼンテーションソフトを使ったり、ICTの活用の有用性を理解する。
できる	シナリオ中の該当する箇所 ・英語で質問したり答えたりして、情報や考えを伝えたり、理解したりして、運用することができる。 ・英語で紹介文を作成したり、読んだりすることができる。	シナリオ中の該当する箇所 ・パラグアイと日本の共通点や相違点から、その地理や歴史、文化背景を分析することができる。 ・文化事象の分析を通して、自文化を再認識することができる。	シナリオ中の該当する箇所 ・グループ内で意見交換をし、目標に沿ったプレゼンテーションと台本を作成することができる。 ・情報を収集したり、編集したりする際に、ICT機器を活用することができる。
つながる	シナリオ中の該当する箇所 ・調べたことを英語で質問したり、わかりやすく説明することで、自分たちが同じ地域に住んでいるという仲間意識が生まれる。	シナリオ中の該当する箇所	シナリオ中の該当する箇所
三連携	シナリオ中の該当する箇所 (関心・意欲・態度)	・自分の住んでいる地域について知る(関心)。	
	シナリオ中の該当する箇所 (既習内容・経験、他教科の内容とつながる)	・既習の文法、構文を使って表現する。 ・地理、歴史。	
	シナリオ中の該当する箇所 (教室外の人・モノ・情報とつながる)	・家の人や地域の人。	